

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム パラソル操南

作成日：令和2年5月23日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居者の急変や事故発生での初期対応や応急処置などが全職員に周知されていない。 また、各職員によって入居者の置かれている状況や緊急性に誤差が生じている。	日頃から個々の体調把握を行い、急変前の早期に異変に気が付けるようにする。 実践的な研修参加や日々の申し送りなどで全職員が入居者の緊急時に対応できるようにする。	各入居者の既往歴や持病、内服薬などの基本的な医療知識を勉強会やミーティングなどで得る。日頃から起こり得る事故を未然防止できるようにヒヤリハをしっかり和らげ職員間で共有し、日々話し合いの場を設ける。事故発生及び再発防止、緊急時対応に関する研修実施(8・9月)	12ヶ月
2	36	入居者との馴染みの関係の中で、馴れ合いの話し方や態度が目立つことがある。 ホーム内では信頼関係の下入居者を名で呼ぶことがあるが、第三者からは不自然に感じられる。	日頃から個々を尊重し、名字できちんと呼ぶことで良好な入居者との関係性を再構築する。 入居者に沿った言葉遣いや語調を整え、日常的に丁寧語が話せるようになる。	定期的な内部研修により全職員が意識的にきちんとプライバシー保護などに取り組む。対人援助職に携わる中で接遇スキルを向上させるべく職員や入居者その家族とも進んでコミュニケーションを図る。プライバシー保護、高齢者虐待、倫理・接遇に関する研修実施(5・1・3月)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。